

# 都留市地名考 その二十五

窪田 薫

## 〇や村 (一)

や村の地名については本稿の「その一」でもふれたが、やについて地名用語の宛字として、谷・屋・矢・箭・家・野・葉などがある。『勝山記』には享禄五年(一五三二)小山田越中守信有が中津森からや村に引越されたことについて、「去間此年中、屋村へ御越候テ」と屋の字を宛て、『甲斐国志』も「此ノ年居館ヲ中津森ヨリ屋村へ遷ス」と記されている。や村のやが何時頃谷の字に定着したかは、文禄三年(一五九四)の検地帳に、上谷村・下谷村と記されていることが目安となろう。

しかし、都留市や村はその歴史的背景を考えると、谷村より矢村と称した方がふさわしい。以下矢村と称した場合の歴史的背景について述べることにする。

### 1. 縄文から古代

都留市文科大書裏の『山ノ神遺跡』から先土器時代(約一八〇〇年前)の黒曜石の槍の穂先(長一四センチ巾四・五センチ)が出土した。古代は黒曜石などの石や鉄で矢鏃(矢ノ根)がつくられた。また都留市の『厚原牛石遺跡』から奈良、平安時代にかかわる鉄鏃・刀子・紡錘車などの鉄製品が出土している。



「山ノ神遺跡」より出土した黒曜石

本稿の「その三」及び「その十三」で述べたように、佐伯公蔭(和銅二年770)九、都留郡多良(田原)郷住)は大和朝廷の武將である大伴氏と同族で、主に都留郡の軍事面を担当、非常の場合には東北方面の蝦夷の鎮圧にあたったものと考えられる。

戦に必要な兵器・軍馬は現地調達が必要なことから、兵器のうち弓矢については矢作部の連の祖先、軍馬については小野牧(都留市小野)を中心に調達したことが考えられる。

## 平成6年度 県立吉田高等学校科目履修制商業コース募集の案内

趣 旨	このコースは社会や家庭において、実際に商業の知識や技能を身につけたいと望む人々に短期間で、簿記会計の基礎を身につけていただくことをねらいとしています。	
履修科目	簿記会計 I (4 単位)	簿記会計 II (3 単位) 工業簿記 (2 単位)
履修期間	1 年間	1 年間(1 科目履修も可能)
登 校 日	週 2 回(火曜日・木曜日)	週 2 回(火曜日・金曜日)
授業時刻	簿記会計 I 19時30分～20時55分	簿記会計 II (火曜日) 18時45分～20時55分 工業簿記 (金曜日) 19時30分～20時55分
授業内容	初歩から商工会議所簿記検定 3 級合格程度	商工会議所 2 級合格程度
学 費	年額 10,000円	年額 12,000円
募集人員	若 干 名	若 干 名
出願資格	中学校卒業以上	簿記検定 3 級合格者または同程度の学力のある者
願書受付期 間	3 月 2 日～3 月 8 日	
選考方法	書 類 審 査	
入学許可予 定者の発表	3 月 22 日 (午後 6 時 30 分) 本人あてに通知します。	
願書請求先	県立吉田高等学校事務室 (2 月 1 日より)	
問 合 先	富士吉田市下吉田 2075 の 2 ☎403 県立吉田高等学校 ☎0555-22-2541	

### ふるさとの 二 月

2月1日 初午 市内各地  
(特に西涼寺の儀秀稲荷は盛大である)

3日 節分 市内各地

27日 六地藏縁日 用津院

3月3日 ひな祭り  
(都留市では月遅れの四月三日に行われる方が多い)

## 第 1 回 自然農法研修会

～地球にやさしく 環境を守り  
人に健康な農作物を作るために～

☆今年こそ、薬害のない作物をつくりましょう  
☆自然を大切に、それぞれの作物に似合う農作業  
☆安心して食べられる野菜をつくりましょう

日時：2月19日(土)13:10～15:30  
場所：富士女性センター 婦人団体教室  
講師：(財)自然農法国際研究開発センター技術研究課長 朝倉未治氏

次回予定

2月26日(土)13:10～  
講師：(財)自然農法国際研究開発センター 塩山支部長 小野貞之氏

3月5日(土)13:10～  
講師：未定

[主催] MOA内野プランチ  
[共催] (財)自然農法国際研究開発センター MOA山梨

問合先 43-4635 [内野]